

## 内 容

### \* 2019 年イタリア地域精神保健研修報告 第 19 回(最終回)

#### 4 ヴェネト州ヴェローナでの研修

##### 4-4 セルフヘルプ・サンジャコモでの研修

### \* 事務局からのお知らせ

◎ 2023 年度定時総会のお知らせ

◎ 2023 年度年会費のお願い

### \* 2019 年イタリア地域精神保健研修報告 第 19 回(最終回)

イタリア地域精神保健視察研修ツアーは、コロナ禍の影響で 2019 年を最後に実施できておりません。本報告は、最新のイタリア情報を皆様にお届けすると共に、早期のツアー再開を願って 2020 年 8 月号より掲載を開始しました。他の記事を挟みながらですが、今回で 19 回目を迎え 2019 年の研修報告は最終回となります。

この間、コロナ禍は終息の方向に向かっていることは確かです。5 類への変更も目前となってきております。しかしツアー再開を考えたとき、ご参加の皆様は研修とは言え職場から休暇を頂き自費でご参加いただく方が大半です。その方が帰国後コロナを発症されたとき、どの様に説明することができるのでしょうか。このリスクを考えると早期のツアー再開を願いつつ、ためらいを感じております。

#### 4 ヴェネト州ヴェローナでの研修

##### 4-4 セルフヘルプ・サンジャコモでの研修

コーペラティーバ「セルフヘルプ・サンジャコモ」はヴェローナ市街地から少し離れたところ、公営 4 階建てアパートの中にあります。アパートには一般住民が居住していますが、セルフヘルプは 1 階に事務所と地下に会議室を持っています。そして 3 階の 1 室がグループホームになっており現在 8 名が入居しています。



セルフヘルプで働くアルバさんに、グループホームでお話を伺います。

Q)部屋の広さはどの位ですか？

A)広さは 250 平方メートルで、台所と 2 つの浴室がありますから十分広いと思います。

Q)毎日どの様に過ごしていますか？

A)昼間はリビングに集まっていることが多く、昼寝をする人や食事の人など様々に過ごしています。



Q)入居者の性別と年齢構成は？

A)全て男性で 30 代から 70 歳前位です。

Q)若い方は、今日は居ないのですか？

A)若い方は昼間大体出かけるので、現在 1 名が外出中です。

Q)部屋を見せていただけますか？

A)どうぞご覧ください。

Q)住み心地は如何ですか？

A)(入居者)今まで幾つかの場所を転々としてきたが、ここはとても良いです。

Q)門限は有るのですか？

A)建物は公営アパートなので決まりは有りませんし、グループホームとしても門限は有りません。しかし殆どの方は夕食時には戻ってきています。アパートの規則として 10 時以降は大声を出したり騒いだりしてはいけないことになっています。

Q)アルバさんはどのような立場なのですか？

A)セルフヘルプ・サンジャコモを運営するコーペラティーバの職員で、グループホームのコーディネーターをしています。エデュカトーレの資格を持っていますが医療スタッフではありません。

Q)どのような方が設立したのですか？

A)精神科医が考案して設立しましたが、通常は忙しいので来ることは殆どありません。

Q)個室は有るのですか？

A)皆が一緒に生活することに意味があるので、このような形をとっています。

Q)入居者個人の負担はどの位ですか？

A)非常に答えにくいですが、個別にプログラムがあり、年金の受給者や就労支援金の受給者など条件が全く違いますので負担額も変わってきます。概略でお答えすると 1 日 30 ユーロで、そのうち 17 ユーロが光熱費を含めた住居費で残り 13 ユーロがサポートの人件費です。

Q)夜間に体調の変化があった場合は？

A)ここは 24 時間サポートではありませんので、本人か同居人が救急車を呼んで対処することになります。一般の人と同じです。

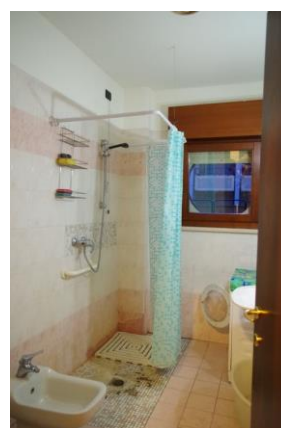
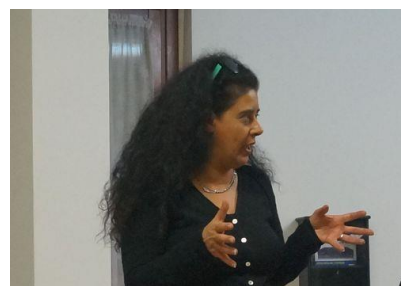
Q)同じようなグループホームは幾つかあるのですか？

A)コーペラティーバとして 16 のグループホームを持っていて約 80 名が入居しています。グループホームのコーディネーターだけでも 14 名います。

Q)政府による経費削減が進められていると聞いていますが、現場で感じる事は有りますか？

A)今のところ現場で感じる事は有りません。

A)(ブルチ先生)10 年程前はこのようなコーペラティーバも精神医療からお金が出ていました。しかし今の経費削減の流れが来る前に精神医療から切り離されており、他の形として民間や市から福祉系のお金をもらうシステムができました。患者は精神疾患やアルコール依存症、家族の問題など



色々複合的に持っている場合が多く、専門医は個別の疾患や問題だけを見て患者の一部のみに責任を持つとするのですが、コーペラティーバは患者の全体を見てケアし生活をサポートする体制がとられているので、イタリアではコーペラティーバは必要不可欠なシステムとなっています。

Q)大変な仕事ですか？

A)かなり大変です。でも訓練されていますから大丈夫です。

A)(ブルチ先生)仕事に責任を持ちすぎて、この様な立場の専門職の方がバーンアウトしてしまうという状況があり問題です。コーペラティーバの働き方は非常にフレキシブルですが、その業務は大変重要です。働いている方は重要性を自覚し希望し、この様な勤務が理想的だと考えています。仕事に飽きてしまったり、仕事の効果が表れなかったりという事が起きないためには、個々人のモチベーションが高くある必要があります。

Q)ここでは薬の管理はどの様にされていますか？

A)各個人を担当している精神科医が薬を決めます。各自が町の薬局に行って処方薬を受け取り処方に沿って服薬しています。彼らは精神障がいがありグループホームに住んでいますが、一般市民として生活していますので、医者に行き薬局に行き薬を飲みながら生活しています。管理は全て各自が行っており、多い人は9種類位の薬を飲んでいますが、精神科医がグループホームに来る事は有りますが、それは彼らから精神科医と話したいという希望があって実現することなので、精神科医側の意思で訪問することは基本的にありません。

Q)入居者の高齢化で精神疾患以外の病気に関しては如何ですか？

A)このグループホームは入居者の年齢制限はありませんので何歳になっても入居を続けられます。しかし肉体的に継続不可能になれば、介護のある住居に移動することになります。その時はソーシャルワーカーが来て状況を調査し適した施設があるか調べて対応していくことになります。このシステムは精神障がいに関係なく一般市民と同等の方法で対処されます。ブルチ先生のご尽力で開設できたこのグループホームは19年間継続できています。

Q)喫煙は規制がありますか？

A)入居者1名以外は全員タバコを吸います。しかし室内での喫煙は禁止していますので、バルコニーなど外に出て吸っています。

Q)ここに住んでいて良いことや嬉しいことは有りますか？

A)(居住者 A さん)皆の役に立てるという事が一番です。例えば僕は小型バスの運転ができるので、皆を乗せて出かけることができます。

A)(居住者 B さん)セルフヘルプが大変役立ちます。

A)(居住者 C さん)以前はアパートを所有していましたが、一人では暮らせませんでした。それでグループホームに入れて友達もでき、今は幸せです。アパートは家族に取られてしまいましたが。

A)(居住者 D さん)精神疾患があるため3か月前まではホームレスで住むところがありませんでした。ここを紹介されて住み始め、皆と仲良くできてポジティブな生活を始められました。

A)(居住者 E さん)前にいたところは問題があって、ここに替わりました。ここはとても良いところで、何の問題もありません。皆で助け合って生活しています。

E さんは、市が運営している夜間だけ寝泊りできる場所で生活していました。昼間は居られないので歩いていたりして過ごしていたようです。そこでは辛いという事で入居しました。彼はまだ若いから、これから仕事を見つけなければならない状態です。

(E さん)コーペラティーバで何か仕事ができれば良いと思って研修を受けましたが、まだ決まっていません。

それから部屋に軟禁状態に出すことが出来ない人が 1 名います。この方は泥棒したとか強盗したとかではなく、ある場所に行って大騒ぎをして他人に怪我をさせたわけではないのですが危害を及ぼしたという事で、自宅に留まっているようにと司法からお達しが出ているのです。

我々は 360 度管理チェックをしていますので、他の組織ではこの様な方を受けようとしません。

大体この様な感じのグループホームです。

有り難うございました。



#### \* 事務局からのお知らせ

##### ◎ 2023年度定時総会のお知らせ

2022 年度(1 月 1 日～12 月 31 日)が終わり 2023 年度に入っておりますので、下記予定で定時総会を開催します。会員の皆様には別途詳細連絡を差し上げますが、是非お時間をご調整いただきたくお願い申し上げます。

##### 定時総会

日時 3月15日(水)19時～21時 Zoom Web 会議

##### 議案 1. 2022 年度事業結果報告

2. 2022 年度決算報告

3. 2023 年度事業計画及び予算案

4. その他

##### ◎ 2023年度年会費のお願い

協会の皆様からお預かりする会費で運営しております。本年度も是非協会運営にご協力ください。宜しくお願いします。

正会員年会費 10,000 円

賛助会員会費 1口 1,000 円(3口以上希望)

振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 00110-7-315159

口座名 NPO 法人精神保健福祉交流促進協会

※他の金融機関利用の場合:ゆうちょ銀行 0一九店 当座 口座番号 0315159



#### — 編集後記 —

2020 年 8 月号より連載を開始したイタリアの研修報告は今回で 19 回目を迎え、それとともに最終回となりました。イタリアへの研修ツアーの再開を願う思いも止みません・・・。

新しい年になり早いもので2ヶ月が過ぎようとしています。今年もオンラインなどを利用して各地域の皆さんと WEB セミナーなどを通じて、お目にかかれる機会を持ちたいと考えております。

また、各地域での情報など写真や原稿などお待ちしております。年度末でお忙しい毎日をお過ごしのことと思いますが、皆様のご協力をどうぞよろしく願いいたします。(m.shiida)」

特定非営利活動法人 精神保健福祉交流促進協会